



# 国立遺伝学研究所 ONLINE 公開講演会 2021

お申し込み・詳細



[www.nig.ac.jp/kouenkai/](http://www.nig.ac.jp/kouenkai/)

## つながる遺伝研

### 2021年11月20日(土)

13:00 START

#### ■オンライン講演会

「ゲノム進化と形態進化をどうつなげるか？」 斎藤 成也(教授・集団遺伝研究室)  
「生殖細胞の性分化：精子と卵子のわかれめ」 相賀 裕美子(教授・発生工学研究室)  
「私が遺伝研進学を決めたカギ」 神部 飛雄(総合研究大学院大学 遺伝学専攻)

#### ■研究者とオンラインで語ろう

ネットに集結した研究者が研究成果をご紹介します。直接対話するチャンス。

#### ■大学院説明

遺伝研(総合研究大学院大学 遺伝学専攻)での学生生活についてご紹介。

参加無料

国立遺伝学研究所  
ONLINE  
公開講演会  
2021

国立遺伝学研究所ってどんなところ？

すべての生命科学の道は遺伝学に通ず。国立遺伝学研究所は、大学共同利用機関として全国の生命学者をサポートすると同時に、遺伝学の新たな研究分野の開拓に挑戦しています。また、総合研究大学院大学 遺伝学専攻として、大学院生の教育を行っています。複数の教員による指導、国内外の演者によるセミナー、独自に開発した研究者養成英語カリキュラムなどの特徴ある教育により、未来の科学者を育てています。

スケジュール



Zoomによる開催

第一部「オンライン講演会」 13:00～15:05

つながる遺伝研

□ごあいさつ 所長 花岡 文雄

□講演 1 斎藤 成也 (教授・集団遺伝研究室)

「ゲノム進化と形態進化をどうつなげるか？」

真核生物のなかでも、動物と植物はすべて多細胞性であり、多様な形態を持っています。これらの形態は種特異的なもので、それぞれの種のゲノム中に形態を決定する塩基配列があると考えられています。その鍵となる可能性があるCNS (進化的に保存された配列) の進化について、特に哺乳類のゲノム解析結果をお話します。



□講演 2 相賀 裕美子 (教授・発生工学研究室)

「生殖細胞の性分化:精子と卵子のわかれめ」

すべての生物は次世代に遺伝子を伝える手段を持っています。我々ヒトを含めて多くの生物はオスとメスに性分化しそれぞれが精子と卵子という特殊な細胞を作り、これらの細胞が受精して次世代を生み出します。この講演ではこの胎児期に起こるビックイベントに焦点をあてて、精子と卵子がどのように性決定をうけるかをお話します。



□総研大紹介 小田 祥久 (教授・細胞制御研究室)

□講演 3 神部 飛雄 (総合研究大学院大学 遺伝学専攻)

「私が遺伝研進学を決めたカギ」

私は、小さい頃からなりたい職業があり、大学3年生の夏まで就職を考えていました。しかし、現在、私は遺伝研に進学し、充実した学生生活を送っています。一体なぜ私は就職ではなく、遺伝研への進学に挑戦したのでしょうか。今回は私が遺伝研に進学を決めた経緯や決め手、実際に学生生活を送って感じたことをお話します。



第二部「研究者とオンラインで語ろう」 15:05～16:45

□遺伝研の研究室を一挙公開

□気になる研究室を選んでトーク

※トークはZoomのブレイクアウトルームを利用

□総研大生と大学院についてトーク

お申し込み

参加登録は特設サイトから

[www.nig.ac.jp/kouenkai/](http://www.nig.ac.jp/kouenkai/)



- Zoomに参加すると、講演者や研究者と話せる機会があります。参加を希望される方は事前登録が必要です。
- 参加登録しなくても講演動画は特設サイトより閲覧できます。当日「質問フォーム」で講演者に質問できます。
- 講演動画・研究発表ポスターのダウンロードや画面キャプチャはご遠慮ください。